

ドライブレコーダーを活用した事故防止支援サービス「クーポンチャレンジ」の提供開始 ～優良ドライバーにスマホアプリで特典付与、ビッグデータを活用～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、通信機能付オリジナルドライブレコーダー(以下「ドライブレコーダー」)で取得したビッグデータを活用し、個人向けの新たな事故防止支援サービス「クーポンチャレンジ」を2022年12月より提供します。

クーポンチャレンジでは、ドライブレコーダーで取得するビッグデータを解析し、急操作する頻度が少ない優良ドライバーにスマホアプリで特典を付与します。当社はクーポンチャレンジの提供を通じて、お客様の安全運転への意識の高め、安全・安心な交通社会の実現を目指します。

1. 背景

当社は、所定の特約をセットした自動車保険のお客様向けに通信機能付ドライブレコーダーを貸与し、事故時の緊急通報サービスや事故防止支援サービスなど、様々なサービスを提供しています。2021年4月からは車内カメラを搭載した2カメラ一体型端末も導入し端末ラインナップを拡大し、そこから得られたビッグデータを用いて、画像活用型救急自動通報システム「第2種D-Call Net」(*1)や、「事故予兆検知アルゴリズム」(*2)の開発など、ドライブレコーダーを活用した様々なサービスの研究・開発・提供を進めています。

(*1)交通事故の映像から、事故直後に救急や病院にドクターヘリの出動要請通報をすることで、医師の初期治療までに要する時間を短縮する仕組み。

(*2)普段と比べて著しく差がある運転を事故の予兆として検知するアルゴリズム。

2. 取組概要

当社は、2022年12月より、2カメラ一体型ドライブレコーダーと連動するスマートフォン向けアプリ(以下「専用スマホアプリ」)を通じて、優良ドライバーが特典を獲得できるリワードプログラム「クーポンチャレンジ」の提供を開始します。

<画面イメージ> ※実際とは異なる場合があります。



クーポンチャレンジでは、ドライブレコーダーから取得したデータを用いて算出した安全運転診断の得点に応じて、電子クーポンの獲得に挑戦いただけます。電子クーポンはコンビニ等で利用可能な最大 200 円分の商品ラインナップから選択して獲得することができます(チャレンジで獲得できる電子クーポンの総額は年間最大約 1,000 円分です。)

クーポン獲得方法等の仕組みの構築には、EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社の持つ行動経済学の知見を用いて、毎週の安全運転診断の得点に応じてクーポン獲得への挑戦権をできる方式としています。これにより、ドライバーが日頃の運転で急ブレーキや急アクセルなどの急操作(*3)をしないような運転を心がけるサービスの在り方を追求いたしました。

(*3)安全運転診断は運転中の急ブレーキ・急アクセル・急ハンドルの回数が少ないほど高得点となります。

3. 今後について

専用スマホアプリは既にインストールが可能となっております。App Store または Google Play にアクセスし、「DAP 東京海上」と検索してアプリをインストールいただけます。

※App Store は Apple Inc.の商標です。Google Play は Google LLC の商標です。

当社はこれからも、ドライブレコーダー特約を通じた事故防止支援サービスの提供を通じて、お客様の安心・安全なカーライフの実現に貢献してまいります。

dRIVEN

本新サービスは「dRIVEN」シリーズの1つとなります。

「dRIVEN」はデータ・テクノロジーの活用を通じて新たな価値をご提供し、様々なリスクからお客様・地域社会をお守りする東京海上グループの保険商品シリーズの総称です。

2021 年 11 月 25 日ニュースリリース:

https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/l6guv3000000dnu9-att/20211125_dRIVEN_j.pdf

以上